

補助金 名称	墨田区体育協会補助金						主管課・係（担当）		
根拠法令	墨田区体育協会補助金交付要綱						スポーツ振興課スポーツ振興担当		
事業概要	墨田区体育協会に対し、区民体育大会及び区民体育祭等の区との共催事業や事務経費等について補助金を交付し、その運営等を支援することにより、本区におけるスポーツの振興と区民の体位向上を図る。						5608-6312		
							事業の終期		
							平成37年		
必要性・ 妥当性	区民のニーズ								
	体育協会が実施している各種スポーツ大会は、区民のスポーツ活動への参加、健康増進、体力及び技術の向上、また、区民相互の交流、親睦が図られており、必要性は高い。								
	代替可能性の状況（区が実施する必要性等）								
	各種競技団体との協働により効率的な実施ができています。								
有効性・ 適格性	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	各種大会（区民体育大会・祭、都民体育大会、姉妹区大会）参加者数				単位	人	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
		26,250	H37		目標	25,200	25,200	25,200	25,200
					実績	24,206	24,071		
			H32	H33	H34	H35	H36	H37	
		目標	25,200	26,250	26,250	26,250	26,250	26,250	
		実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	大会参加者数を増加させることで、区民が大会に向けての練習する機会を増やし、区民のスポーツ活動への参加、健康増進、体力及び技術の向上を図る。								
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
		50	37		目標	41	42	43	44
					実績	38.6	38.6		
			H32	H33	H34	H35	H36	H37	
目標		45	46	47	48	49	50		
実績									
指標の選定理由及び目標値の理由									
各種大会を開催することによって、区民が自らスポーツを行うようになったかを図る必要があるためスポーツ実施率を選定した。ただし、スポーツ実施率は一朝一夕では伸びないため目標値は慎重に設定した。									
財政面 〔決算額〕 (単位：千円)	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34		
	7697	7752							
	H35	H36	H37	〔予算の傾向〕 ここ数年、体育協会加盟団体数の増減は少なく、横ばい状態である。					
施策への 関連性	体育協会が実施している各種スポーツ大会は、スポーツを愛好する区民にとって、日頃の練習の成果を発揮する絶好の機会となっており、有効である。								

1 必要性・妥当性			5	
区が実施する理由があるか	ある	目的が政策上の位置付けと整合しているか	している	
目的・内容等が社会経済情勢に合致しているか	している	不特定多数の利益の増進に寄与するか	している	
区民ニーズに即しており、公益上必要と認められるか	認められる	個人利益に対する利益に留まらず適切な対象範囲に波及するか	する	
区の施策目標の実現に寄与しているか	している			
判断理由				
体育協会が実施している各種スポーツ大会は、区民のスポーツ活動への参加、健康増進、体力及び技術の向上、また、区民相互の交流、親睦が図られており、必要性は高い。				
2 有効性・適格性			4	
経費、補助額の算定根拠が明確になっているか	なっていない	交付機会の公平性や負担の公平性が確保されているか	されている	
区が負担する割合として適切か	適切である	補助団体の活動内容が目的と合致しているか	合致している	
任意団体に対する補助の場合、自立化を促進するものであるか	ある	補助目的及び金額に見合う実績等の効果があるか	ある	
補助目的が既に達成されていないか	されていない	目標及び見込まれる効果が明確か	不明確	
団体等が自らの財源で賄う範囲と区の支援範囲が明確となっているか	なっていない	効果測定の具体的な目標・指標が明確か	明確	
判断理由				
体育協会が実施している各種スポーツ大会は、スポーツを愛好する区民にとって、日頃の練習の成果を発揮する絶好の機会となっており、有効である。				
3 効率性・経済性			4	
類似する補助事業がないか	ある	地域社会や区民等へ波及効果があるか	ある	
手続が過度に煩雑でないか	煩雑ではない	個人の経済的負担軽減の場合、実質的公平性を考慮しているか	該当なし	
目的に対する区の負担割合が適切か	適切である			
判断理由				
各種競技団体との協働により効率的な実施ができている。				
【評価結果】				
改善・見直し				
中間・最終年度の講評	スポーツの普及・振興といった目的に資するものであり、参加人数の面からも一定の効果は認められ、引き続き継続していく必要がある。			
今後の方向性	今後は、引き続き、大会運営に関して各体育協会加盟団体と連携し、より効果的な大会運営を模索していく。			

補助金名称	区民納涼民踊大会補助金						主管課・係（担当）		
根拠法令	スポーツ振興事業補助金交付要綱						スポーツ振興課スポーツ振興担当		
事業概要	区民体育祭の一環として、区民相互の親睦を深め、地域の活性化が図られるよう、毎年盆踊り大会を開催している。 事業運営を円滑に行うため、墨田区民踊連盟に補助金を交付し、当該事業の運営管理を主管してもらっている。						5608-6312		
							事業の終期		
							平成37年		
必要性・妥当性	区民のニーズ								
	スカイツリーで盆踊りができるという他に類似事業が存在せず、参加人数も増加傾向にあり、本事業は必要であると考えます。								
	代替可能性の状況（区が実施する必要性等）								
	事業運営を円滑に行うため、墨田区民踊連盟に補助金を交付し、当該事業の運営管理を主管してもらっている。								
有効性・適格性	手段に対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
		1,200	H37		目標	1,000	1,000	1,000	1,000
					実績	900	500		
			H32	H33	H34	H35	H36	H37	
		目標	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100	1,200	
		実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	より多くの区民に参加してもらい、今後民踊を始めるきっかけとする。								
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
		50	37		目標	41	42	43	44
					実績	38.6	38.6		
			H32	H33	H34	H35	H36	H37	
		目標	45	46	47	48	49	50	
実績									
指標の選定理由及び目標値の理由									
納涼民踊大会を実施することによって、区民が自らスポーツを行うようになったかを測る必要があるためスポーツ実施率を選定した。ただし、スポーツ実施率は一朝一夕では伸びないため目標値は慎重に設定した。									
財政面 〔決算額〕 (単位：千円)	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34		
	960	960							
	H35	H36	H37	〔予算の傾向〕 民踊連盟への補助金が主であり、ここ数年は横ばいである。					
施策への関連性	区民相互の親睦を深め、地域の活性化が図られている。								

1 必要性・妥当性			5	
区が実施する理由があるか	ある	目的が政策上の位置付けと整合しているか	している	
目的・内容等が社会経済情勢に合致しているか	している	不特定多数の利益の増進に寄与するか	している	
区民ニーズに即しており、公益上必要と認められるか	認められる	個人利益に対する利益に留まらず適切な対象範囲に波及するか	する	
区の施策目標の実現に寄与しているか	している			
判断理由				
スカイツリーで盆踊りができるという他に類似事業が存在せず、参加人数も増加傾向にあるため、本事業は必要であると考えます。				
2 有効性・適格性			4	
経費、補助額の算定根拠が明確になっているか	なっていない	交付機会の公平性や負担の公平性が確保されているか	されていない	
区が負担する割合として適切か	適切である	補助団体の活動内容が目的と合致しているか	合致している	
任意団体に対する補助の場合、自立化を促進するものであるか	ある	補助目的及び金額に見合う実績等の効果があるか	ある	
補助目的が既に達成されていないか	されていない	目標及び見込まれる効果が明確か	明確	
団体等が自らの財源で賄う範囲と区の支援範囲が明確となっているか	なっていない	効果測定の具体的な目標・指標が明確か	明確	
判断理由				
区民相互の親睦を深め、地域の活性化が図られており有効である。				
3 効率性・経済性			4	
類似する補助事業がないか	ある	地域社会や区民等へ波及効果があるか	ある	
手続が過度に煩雑でないか	煩雑ではない	個人の経済的負担軽減の場合、実質的公平性を考慮しているか	該当なし	
目的に対する区の負担割合が適切か	適切である			
判断理由				
事業運営を円滑に行うため、墨田区民踊連盟に補助金を交付し、当該事業の効率的に運営している。				
【評価結果】				
<h1>改善・見直し</h1>				
中間・最終年度の講評	区民が主体となって、区民の交流・親睦を図るための公益的事業として実施しており、継続していくべきである。			
今後の方向性	来年度以降もスカイツリーで実施できるようにスカイツリー社と調整するとともに、タウン外部からの誘客方策を検討する。			